

## 第13回 東備西播定住自立圏形成推進協議会 会議録

1 日 時 平成26年3月20日(木) 16:00～16:55

2 場 所 赤穂市役所 6階 大会議室

3 出席者

(1) 委 員 豆田 正明 赤穂市長  
明石 元秀 赤穂市副市長  
永安 弘 赤穂市議会議長  
前川 弘文 赤穂市議会副議長  
吉村 武司 備前市長  
武内 清志 備前市副市長  
尾川 直行 備前市議会議長  
川淵 正行 備前市議会副議長  
遠山 寛 上郡町長  
衣笠 達也 上郡町副町長  
橋本 正行 上郡町議会議長  
大政 正明 上郡町議会副議長

(2) 幹 事

赤穂市：高山市長公室長  
備前市：藤原総合政策部長  
上郡町：宮下企画財政課長

(3) 事務局及び各市町担当者

赤穂市：東南企画広報課長、澁江企画政策係長、宮本主査  
備前市：中野企画政策課長、大西企画政策課係長  
上郡町：井上企画政策係長

(4) 説明員

①教育施設部会：満重部会長（赤穂市スポーツ推進課長）  
②給食部会：深澤部会長（上郡町学校教育課長）  
③観光部会：永石部会長（赤穂市産業観光課長）  
④農林商工部会：多田赤穂市農林水産係長（代理）  
平野秘書・企業立地担当課長  
⑤交通部会：平田部会長（備前市まちづくり課長）  
⑥通信情報部会：沼田部会長（赤穂市情報政策担当課長）  
⑦職員部会：藤本部会長（赤穂市人事課長）  
⑧交流定住部会：(東南部会長)  
⑨地域医療分野：矢野赤穂市民病院事務局長

4 会議の概要

(1) 開 会

(2) 会長あいさつ 豆田赤穂市長

(3) 報告事項 東備西播定住自立圏共生ビジョン（第4回変更）について

(4) 協議事項 平成26年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について

(5) その他

(6) 閉 会

## 5 議事の概要

事務局 定刻より少し早いですが、ただ今から、第13回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたします。本日の進行をさせていただきます、赤穂市市長公室長の高山です。よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、本日の会議に報道機関から、傍聴の申し出がございます。会議の傍聴につきましては、本協議会会議規程第2条で原則公開となっております。本日の議事内容は、お手元のとおりでありますので、会議の冒頭から傍聴を認めることとしたいと思います。また、写真等の撮影希望があれば、会長あいさつまでとし、会議中の撮影、録音はできないこととしたい、と考えておりますが、ご異議ございませんか。

「異議なし」

異議なしというお言葉をいただきましたので、傍聴を認めるということで、傍聴の方にお入りいただきます。しばらくお待ちください。

(報道入室)

お待たせいたしました。報道の方をお願いいたします。会議中の写真撮影等はご遠慮いただきますので、ただ今から、会長あいさつまでの間のみ、写真撮影を認めたいと思います。必要な方は、この時間をお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、会長であります、赤穂市豆田市長よりごあいさつを申し上げます。

豆田会長 本日は、年度末の大変お忙しい時期にもかかわらず、第13回東備西播定住自立圏形成推進協議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。さて、東備西播定住自立圏構想につきましては、皆さんご承知のとおり、共生ビジョンに基づく事業も順調に実施され、平成26年度が5カ年計画の最終年度となります。

後ほど事務局からご説明いたしますが、今月より3市町を直接結ぶ圏域バス「ていじゅうろう」が本格運行を開始し、圏域内の公共交通の充実化を図ったところがございます。今後、このバスによりまして、住民の皆さんの移動手段の確保と利便性が向上し、更には、この圏域全体の魅力が向上することを大きく期待をしているところがございます。委員の皆様にも、それぞれのお立場でお力添えを賜り、今後圏域事業への更なるご理解とご協力をいただきたいと存じます。

本日は、共生ビジョン変更についての報告のほか、平成26年度予算についてご協議をいただくことといたしております。委員各位の忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではありますが、開会のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 報道機関の方、以上で撮影の時間を終了いたします。

議事に入ります前に、本日上郡町議会副議長大政正明様に新たに委員としてご出席をいただいております。一言ごあいさつをお願いしたいと存じます。

大政委員 平成23年10月から昨年3月まで、この会議に委員として出席しておりましたが、この度再度出席することとなりました。よろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。なお、お手元に委員名簿並びに部会別役割分担表を配布しておりますので後ほどご覧ください。それでは会長、議事進行をお願いします。

豆田会長 それではお手元の資料に基づきまして、議事を進めさせていただきます。

まず、3の報告事項に入ります。東備西播定住自立圏共生ビジョン第4回変更について、であります。事務局、説明願います。

それでは報告事項、東備西播定住自立圏共生ビジョン第4回変更について説明いたします。お手元の共生ビジョンと共生ビジョン変更箇所一覧をご覧ください。

まず、共生ビジョンは、中心市であります備前市が主催します「共生ビジョン懇談会」での検討を経て、毎年度所要の変更を行うこととなっております。このため、本日報告する内容は、懇談会において協議、承認されたものでございます。

今回の変更は大きく分けて3点です。1点目は、新規事業として1事業を追加したこと、2点目は備前市生涯学習施設整備事業の事業内容、事業費等の変更、圏域バスが本格運行に移行したことに伴う事業名、事業内容等の変更、3点目は、その他、各事業の平成26年度予算に関する事業費の変更であります。

最初に変更箇所について、変更箇所一覧により説明いたします。左から変更箇所、共生ビジョンのページを記載しており、変更箇所を下線で示しております。変更箇所を説明後、ビジョンの冊子で内容につきまして説明いたします。

表紙につきましては、今回第4回変更に係る表記の変更となっております。6ページは医療に関する各研究会事業の平成26年度予算に関する事業費変更です。7ページは、圏域住民診療支援事業に関する事業費変更です。9ページは指定文化財・文化施設等巡りツアーの事業費の変更、11ページは文化・スポーツ交流事業の事業費の変更であります。14ページは、備前市生涯学習施設整備事業で、備前市市民センターを25年度、26年度に整備をしないことに対する事業内容の備前市市民センター部分の文言の削除と事業費の変更であります。14ページは新規事業として、上郡生涯学習施設整備事業のビジョンへの追加であります。16ページから19ページまでにつきましてはそれぞれの事業費の変更であります。20ページは、圏域バスが本格運行されたことに伴う事業内容の文言の修正と事業費の変更であります。21ページから27ページにつきましてはそれぞれ事業費の変更であります。28ページにつきましては、総事業費の変更となっております。

次に共生ビジョンの冊子によりまして、先ほど申しました事業費を各事業の26年度の内容と合わせ説明させていただきます。共生ビジョンをご覧ください。まず、6ページをお開きください。医療連携研究会事業につきましては、研究会を26年度は1回予定しております事業費は137千円であります。次に医療情報研究会事業につきましても、講演を予定しております事業費は224千円であります。7ページは、25年度より実施の圏域住民診療支援事業であります。事業内容は、備前市民及び上郡町民が、圏域の中核病院である赤穂市民病院で出産した場合の助産料について、赤穂市が負担する額と同額にするものであります。圏域内住民の助産料を同一化することにより、妊婦の負担を軽減し、安心して生み育てることができる環境づくり及び圏域の活性化に寄与する効果が見込まれます。事業費は、平成25年度の実績より算出し、1,480千円であります。9ページ、指定文化財・文化施設等巡りツアー事業につきましては、26年度につきましても実施予定で、事業費は437千円であります。11ページの上段、図書館相互利用推進事業につきましては、事業費はございませんが、相互利用の推進を図るよう引き続き実施いたします。下の段ですが、文化・スポーツ交流事業につきましては、スポーツ推進委員による研修会や青少年スポーツ交流事業を実施し事業費は640千円であります。12ページ上段の文化・スポーツ施設相互利用促進事業につきましては、事業費はございませんが、引き続き相互交流を深めてまいります。12ページ下の段は、25年度に引き続きトップアスリート等招聘事業を実施いたします。事業内容は、国内外で活躍するトップアスリートやトップチームを招聘し、一部観客参加イベントを実施するなどの魅力あるイベントを3市町の体育館施設等で開催します。事業費は3,000千円を計上いたしております。13ページの上の段ですが、25年度に引き続き、中学校吹奏楽部交流助成事業です。事業内容は3市町の教育委員会が、音楽を通じた地域活性化に取り組む市民団体「3Mプロジェクト」と連携して実施する3市町の中学校吹奏楽部交流事業に対して助成するものです。事業費は補助金として800千円を計上いたしております。14ページ上段ですが、備前市生涯学習施設整備事業であります。この事業は備前市負担の事業であります。事業内容ですが、日生市民会館は、「図書館相互利用推進事業」の拠点施設となる図書館を含む複合施設であり、経年劣化により改修の必要があるため施設設備等の整備を行

うもので事業費として20,446千円計上いたしております。なお、備前市市民センターの整備は実施しないため、文言を削除しております。14ページ下段は新規事業、上郡町生涯学習施設整備事業であります。この事業は上郡町負担の事業であります。事業内容ですが、上郡町生涯学習センターは図書館相互利用推進事業の拠点施設となる図書館を含む複合施設であり、経年劣化により改修の必要があるため施設設備等の整備を行うもので、事業費として45,173千円計上しております。16ページ、地域ブランド発掘事業につきましては、引き続き、相談会の開催や地域ブランド特産品創造のための助成経費などで、事業費840千円であります。17ページ、観光振興推進事業につきましては、観光キャンペーン等で3市町が一体となった観光施策を実施し、圏域観光パンフレットの作成、モニターバスツアーなどを予定しており事業費としては1,628千円であります。18ページ、有害鳥獣対策事業につきましては、引き続き有害鳥獣の捕獲を共同で行ってまいります。防護柵の設置や捕獲具購入費用を充実させ、事業費は3,540千円であります。19ページ、企業誘致促進事業につきましては、3市町合同で企業誘致促進のための事業を行ってまいります。事業費は2,300千円であります。20ページ、上段、圏域運行バス調査・検証事業につきましては、圏域住民のみなさんの移動手段の確保、利便性の向上及び地域の活性化を図ることを目的に、平成24年2月27日から上郡駅～赤穂市民病院間の上郡ルート、3月5日に吉永病院～赤穂市民病院経由のイオン赤穂店前の備前ルートの試験運行をいたしておりましたが、この3月1日から本格運行に移行しております。2月末現在の運行状況を申し上げますと、上郡ルートの1日当り利用数が19.3人、市町域越えの利用者が2.3人、備前ルートの1日当り利用数が12.9人、市町域越えの利用者が2.3人、両ルートでは、1日当り利用数が32.1人、市町域越えの利用者が2.3人であり、運行基準の1日当たりの総利用者16人、市町域を越える利用者1便当たり1人超えを上回っております。運行は、試験運行は委託で実施いたしておりましたが、本格運行に伴い車両をバス運行会社に購入していただき、運行経費を補助する形に変更となっております。事業費は26年度で31,200千円を予定しております。次のJR利便性向上事業につきましては、3市町合同でJR等関係機関へ要望活動を行います。事業費は130千円であります。21ページ、地域情報活性化事業につきましては、24年度導入した圏域のポータルサイト「ともりんく」の使用料であり、事業費は930千円であります。次に23ページ上段、民間イベント等助成事業につきましては、引き続き、民間事業者等が住民交流の促進と賑わいを創出することなどを目的に圏域内の複数市町で実施するイベントに対して助成を行うもので、事業費は、3,060千円を計上いたしております。下段の赤穂国際音楽祭開催助成事業につきましては、24年度から赤穂市と姫路市が共同で開催しており、25年度同様、助成を行うもので、事業費は800千円であります。24ページは、こどもと学生のふれあい活動支援事業であります。事業内容は関西福祉大学の学生がボランティアで実施をしている宿題教室等の活動に対する補助であります。事業費は110千円でございます。25ページ、定住相談会開催等事業につきましては、3市町合同により定住相談会を開催する経費で、26年度も引き続き、大阪と神戸市内で開催の予定で、事業費は1,837千円あります。26ページ、職員研修事業につきましては、圏域内の共通の課題をテーマに、他の先進地を視察し、研修報告会を実施するなど職員研修経費で事業費366千円あります。次の職員研修参加交流事業、27ページの人事労務担当職員研究会事業、職員交流事業につきましては、事業費はございませんが、3市町の職員を対象にそれぞれ実施したいと考えております。ページ真ん中の専門家招聘事業につきましては、総務省・自治研修協会の講師派遣制度を利用し、研修会等を開催する予定です。事業費は41千円あります。28、29ページにつきましては、事業の一覧表でございます。見出しの下の総事業費につきましては、26年度までで10億5,394万9千円となっております。また、26年度総事業費は1億2,211万9千円で、このうち、備前市生涯学習施設整備事業2,044万6千円及び上郡町生涯学習施設整備事業4,517万3千円を除きます事業が、平成26年度、協議会で実施する事業となります。

以上で説明を終わらせていただきます。

- 豆田会長 事務局の説明は終わりました。報告事項について、質問等ありますか。
- 武内委員 圏域住民診療支援事業について、助産料を同一にさせていただけるのはありがたいと思います。一方で部屋代についても同一にさせていただけるかどうか確認したいと思います。
- 事務局 入院時の室料差額についてのご質問かと思いますが、今までもご要望をいただけてきましたが、額が大きいため困難であると言わざるを得ません。また、総務省の規定からしますと、個人的に利用するものとしなないもの、つまり大部屋で治療が可能な場合に対して、ご本人が望んで個室に入られるものですので、特別交付税の対象とならないと聞いております。その部分を単独で市町で負担するというのは膨大な額になり、制度的に難しいというお話をさせていただいてきております。
- 遠山副会長 圏域バスについてですが、上郡町内には4つの停留所しかないため、増設が可能かということ、また、船坂地区から梨ヶ原地区を回るルート及び備前と上郡を結ぶルート設定が可能かという3点についてお伺いしたいと思います。
- 事務局 現在のダイヤは赤穂市民病院への到着時刻を目安として設定しており、増設等によりタイトな時間設定になる可能性があります。また、タクシー事業者への配慮、時間の延長によるバス事業者の人員配置の問題が出てきますので、現時点では難しいと考えておりますが、引き続きご要望については検討してまいりたいと思います。備前と上郡を結ぶルートの設定ですが、JRの路線と競合するという問題があります。もともとこのバス事業の開始時には、民間事業者を圧迫しないという前提でルート等を設定している経緯がありますので、こちらも難しいと考えます。
- 豆田会長 引き続き検討をお願いします。
- 尾川委員 JRの利便性の向上について、どのような状況ですか。毎回同じ質問をしているのですが、改めてお伺いします。
- 事務局 ダイヤ改正の要望については引き続き行っており、特に最近では、ICOCA使用を可能にしてほしいとの要望があります。先日も県境協議会及び県と合同でJRの支社へ出向き、強く要望を行ったところですが、機械設置もさることながら、圏域をまたいだ場合に対応するためのシステム改修に膨大な費用がかかるとのことで、設置の考えはないという回答があったところです。
- 尾川委員 膨大な費用というのが一体どのくらいのものか、市民の要望があるわけですから、具体的な数字を持って要望をしていきたいと思います。粘り強く要望をお願いしたいと思います。
- 事務局 具体的な数字は示されませんでした。可能であれば聞いてみたいと思います。
- 豆田会長 ICOCAについては、県も要望を認識しているので、県を巻き込んで要望をしていかないとなかなか動かないと思います。
- 大政委員 運賃は計算できるのに、システムの改修がスムーズにいかないというのは理解できないところです。
- 事務局 機械の設置よりも、精算システムを一から構築することに費用がかかるとのJR

の説明でした。

衣笠委員 大阪側のエリアと岡山側のエリアをまたぐシステム改修は費用がかかるが、県内だけといった設定はあまりかからないと聞いています。

豆田会長 やはり圏域を超えて利用できるようにならないと意味がないと考えますので、粘り強く要望していかないといけないと思います。

永安委員 文化・スポーツ交流事業について、40万円程度増額となっていますが、文化とスポーツのどちらで考えているのでしょうか。また、トップアスリート招聘事業について、一体的な考えをお伺いしたいと思います。

事務局 来年度は、2市1町の小学生・中学生を対象としたスポーツ交流事業を予定しています。一方のトップアスリート招聘事業については、広く住民を対象として行いたいと考えています。

永安委員 交流事業について、持ち回りでの開催なのでしょうか。

事務局 26年度は赤穂市、来年は上郡町、再来年度は備前市というふうに考えています。

橋本委員 地域ブランド発掘事業について、6次化ということもありますので、具体的な内容をお伺いしたいと思います。

事務局 地元農産物を利用した特産品開発にかかる助成や既存の商品をPRするための展示会への出展費用の助成等を考えています。

川淵委員 有害鳥獣対策事業の補助金について、市町への配分や事務手続きについてお伺いします。

事務局 県・市町域境にある自治会に対し、防護柵や捕獲罠設置にかかる補助を考えています。各市町に100万円ずつを予定しておりますが、市町単独でも補助を行っているところであり、その点も今後調整を行ったうえで、補助制度として実施していきたいと思っています。

前川委員 ビジョン懇談会意見の中に、狩猟者の育成に取り組んでいく必要があるとありますが、来年度以降、補助をすることによって育成につながると考えているのか、別の方法を考えられているのかをお伺いしたいと思います。

事務局 駆除に取り組んでいただいているのは各猟友会ですが、今までも側面的支援ということで、資材の現物支給を行ってきました。予算の中では直接的な費用は計上していませんが、県においても育成ができないかとの意見があがってきていると聞いていますので、今後部会で検討していきたいと思っています。

永安委員 上郡と備前には射撃場があったかと思いますが、免許取得のためにも、その点を活用し、直接支援をする考えはありますか。

事務局 猟友会同士での訓練の可能性はあると思います。猟友会の規模に差がありますので、その点を考えつつ課題としたいと思います。

事務局

それでは、備前市より共生ビジョン懇談会の報告をいただきます。

事務局

概要について簡単にご報告いたします。この懇談会は、毎年行う共生ビジョンの見直しの際に開催することとなっております。昨年11月22日に備前市役所において開催しております。会議では25年度の取組状況を報告した後、26年度の変更ビジョンについて承認をいただきました。その中でいただきました主な意見について、ご紹介いたします。

まず医療関係について、残念ながら県の壁が存在しているように感じる。老々介護など圏域社会の高齢化に対応していくためにも、こうした壁を乗り越えて協力できるようにしていきたい。企業誘致関係については、若者の創業支援や援助なども企業誘致とは言わないが、圏域内に事業者を増やす方向になるのではないかと思う。また産業振興では、今年制作したポスターの発想は非常に良い。圏域の共通項として儒学をテーマにした観光や交流を海外などへのPRも視野に入れて展開できないか。情報通信の分野では、圏域での取り組みが見えるものになってきたと思うので、PR不足を解消していくように圏域内の事業広報に力を入れてみてはどうか。また交通関係では、圏域バスの運行はととてもありがたい。今後、高齢者にとって非常に重要な移動手段になると思う。運行に携わる方々にこれからも頑張ってもらいたい。圏域バスの運行ルートについて、延長やルート変更の検討も含め、住民の立場で幅広く考えていただきたい。報告数値から利用者は運行開始時から減っていないが、増えているとも言えない状態だと読み取れる。使ってもらえるようにバス利用の促進をもっと工夫していく必要がある。バス利用者から赤穂駅には乗り入れないのかと聞くこともあり、山陽本線と赤穂線を結ぶような交通手段を検討してみてはどうか。次に、文化・スポーツの面では、若者が圏域外にでていても伝統的な祭りなど熱くなれるものがあれば地元に戻ってくる様子が見受けられる。こうした熱くなれるようなものを創ることを検討してみることも一考ではないか。スポーツや文化面で夢と感動を与えることができる取り組みを圏域の特徴としてさらに取り組んでみるのはどうか。鳥獣被害対策では、圏域で狩猟者の育成に取り組んでいく必要がある。場合によっては、専任の狩猟者を設置することなども一考する価値があるのではないかと思う。

その他 次期ビジョンに子どもの成長に関わる事業を入れ込むことを検討していただきたい。全体の費用対効果を明らかにしていく必要がある時期にきていると思う。何か全体が見える一覧表のようなものを作成して、事業の見直しや移行を行うようにして、継続性や大きな方向性を協議するような管理方法も検討していくべきではないか。

アドバイザーである岡山商科大学教授の多田先生からのコメントとして、圏域で安心して暮らすためには、「医療分野の充実」は欠かせない。出産支援などを含め、今後もしっかりと取り組みや連携を一体感を持って実施していくべきである。雇用、「働く場の創出」が重要。そう意味でいけば、地元の地域資源や地場産業に磨きをかけることが原点となるのではないかと思う。PRについて、まだまだ取り組み自体が、一般市民に浸透していないと思われる。ポータルサイト「ともしんく」の活用などを通じて、しっかりと広報活動や外に向けても情報発信を行っていくことが大事である。鳥獣被害対策について、一自治体で対策は難しいので、こうした問題こそ広域で取り組んでいく必要があると思われる。「圏域のマネジメント能力の強化」、職員や地域の交流につながるマネジメントを行える人物の育成には、いろいろな経験が本当に重要になってきます。こうした研修事業は、目的をはっきりさせたうえで実施することが大切である。「費用対効果の問題」、全体の費用やお金の流れを明らかにして、事業順位など必要な事業の棚卸作業につながる検証も必要になってきている時期である。

以上のコメントをいただきました。

事務局 ただいまの懇談会意見について、ご質問がありましたら、後ほどでも結構ですので、お願いします。

豆田会長 次に、4の協議事項に入ります。第17号議案平成26年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について、であります。事務局、説明してください。

事務局 それでは、お手元の議案書1ページをお願いいたします。平成26年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について、説明いたします。平成26年度予算としまして、歳入歳出の総額をそれぞれ5,660万円と定めたものであります。内訳について、ご説明いたします。

2ページをお願いいたします。まず、歳出であります。1款1項1目、一般管理費としまして、300万円を計上いたしております。内容としましては、臨時事務員に係ります賃金など、事務局運営経費でございます。

次に2款1項1目、活動事業費といたしまして、5,350万円でございます。内容としましては、先程、ご報告させていただきました共生ビジョンの事業内容に基づき、予算計上をさせていただいたものであります。報償費60万7千円、旅費113万1千円、需用費278万円、役務費118万円、委託料409万6千円、使用料及び賃借料270万6千円、負担金補助及び交付金4,100万円です。この額は、先程、共生ビジョンでご説明しました、備前市生涯学習施設整備事業2,044万6千円と、上郡町生涯学習施設整備事業4,517万3千円を除く、全ての事業費となります。また予備費として10万円を計上いたしまして、歳出総額を5,660万円といたしております。

続きまして、歳入についてであります。1款、分担金及び負担金としまして、4,570万円を計上しております。これにつきましては、説明欄にも記載しておりますとおり、備前市からの負担金を予定しております。次に、2款、繰越金としまして、25年度執行残の見込み額として1,089万9千円を、また3款、諸収入として預金利子を単位計上し、歳入合計を5,660万円といたしております。もう一度、1ページにお戻りいただきまして、第2条として、歳出予算の執行にあたりまして、費目間流用ができるものとする。ただし、決算時において目的別の内訳を示し、説明するものとする。としております。

26年度、協議会予算の説明については、以上であります。

豆田会長 事務局の説明は終わりましたが、ただ今の議案について何か質問等ありますか。

特にないようですので、平成26年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算につきまして、原案のとおり可決することで、ご異議ございませんか。

「異議なし」

それでは、平成26年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算につきましては、可決といたします。

次に、5のその他、に入ります。事務局何かありますか。

事務局 まず、本日もご決定をいただきました予算と共生ビジョンに基づき、各部会において26年度もさまざまな交流事業を実施してまいりますので、委員の皆様におかれましては、時間が許せば、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

次に、次回協議会の日程についてであります。新たな取り組みの検討等、今後の状況により、改めてお知らせさせていただきます。なお、本年度の決算報告につきましては、本来決算ができれば協議会を開催し、監査報告等を行うべきであります。他の案件がない場合は、まず書面で各委員に報告し、次回の協議会開催時

に報告等させていただく場合もあるかと存じますので、ご了解いただきたいと思います。以上です

豆田会長 次回開催につきましては、改めて通知させていただきたいと思います。また、各種事業への参加についても、皆さん、よろしくお願ひします。

他に何かありましたらお願ひします。

ないようですので、本日はこれで終了したいと思います。ありがとうございました。

了

(16時55分)